

2023-24年度のための地区研修・協議会

第2部 部門別協議会

国際奉仕・社会奉仕部門

日 時 : 2023年4月8日 (土) 15:30~17:00

会 場 : 大阪国際会議場 10階 1009号室

司 会 : 国際・社会奉仕委員会 次年度副委員長 坂本 一成

(敬称略)

次 第

1. 出席者紹介
2. 開会挨拶 パストガバナー 簡 仁一
3. 国際奉仕・社会奉仕について 国際・社会奉仕委員会 次年度委員長 徳上 洋之
4. ウクライナ避難民の現状~相談対応から見えてきた課題~ 大阪国際交流センター常務理事 兼 事務局長 梅元 理恵
5. 地区補助金とグローバル補助金 ロータリー財団委員会 補助金小委員会委員長 新堂 博
6. 奉仕活動をサポート!~地区国際・社会奉仕委員会の役割 国際・社会奉仕委員会 次年度副委員長 庄田 佳保里
7. ウクライナ人道支援チャリティゴルフコンペについて 国際・社会奉仕委員会 次年度副委員長 中根 三恵子
8. 有意義で魅力ある奉仕プロジェクト~世界中の子ども達の健やかな、未来のために~
国際・社会奉仕委員会 次年度副委員長 古澤 みちよ

◆ 配布資料一覧 ◆

- ・ウクライナ避難民の現状 【資料①】

国際ロータリー第2660地区
2023 - 2024年度のための地区研修・協議会

ウクライナ避難民の現状 ～相談対応から見えてきた課題～

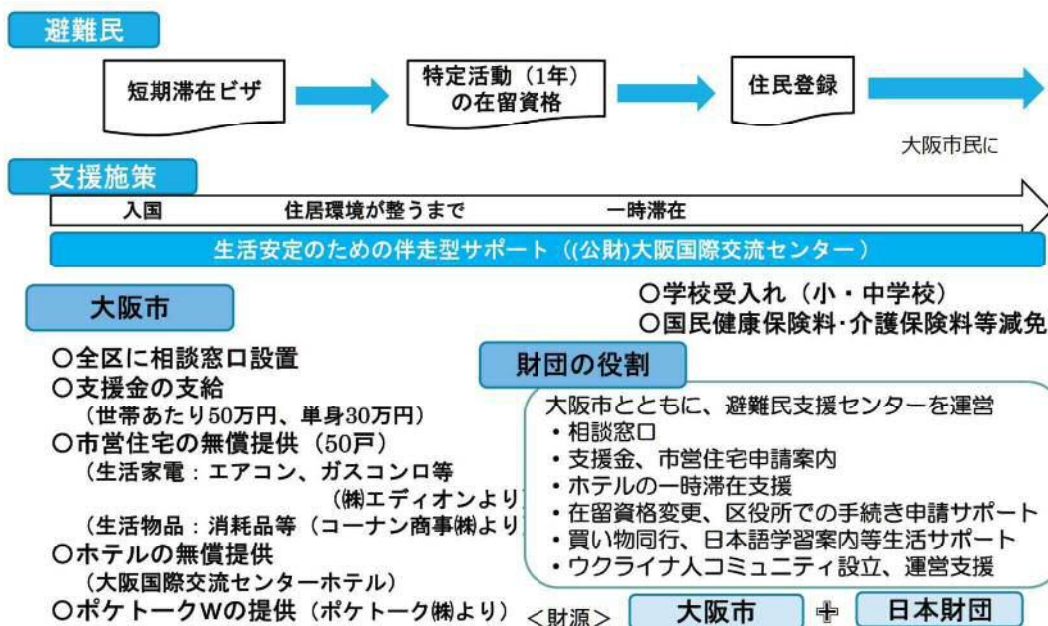
公益財団法人 大阪国際交流センター



- 1 ウクライナ避難民支援の取組み
- 2 中長期的な日本滞在における課題と支援
 - (1) 自立へ向けた課題
 - (2) 取組み
 - (3) 事例紹介
 - (4) 課題解決に向けて



1 ウクライナ避難民支援の取組み



1 ウクライナ避難民支援の取組み

1. ウクライナ関連相談件数（R4.2/1～R5.2/28） **602件**
2. 同行通訳・翻訳サポート（R4.5/14～R5.2/28） **48件**（うち同行通訳8件、同行支援4件）
3. 大阪市との連携（R5.3/13現在）
 - ① **ホテルでの一時滞在支援**（大阪国際交流センターホテル） **利用済13世帯22名、利用予定1名**
 - ② **生活支援金手続きと連携したサポート等** **29件**（単身15件、世帯14件）
4. 日本語学習支援
 - ① 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）と連携 **30名**（対面、オンラインにて実施）週5日全51日）
 - ② まつざき日本語教室 **12名**（対面）※避難民が多く暮らす市営住宅集会所で週2回開催（6カ月コース）



1 ウクライナ避難民支援の取組み

5. ウクライナ人コミュニティ交流会 ※ウクライナ避難民&在住ウクライナ人が企画運営し、毎回楽しいイベントを開催

第1回 6/19、第2回 7/17、第3回 9/18、第4回 10/16、特別回 10/22

※在住ウクライナ人、ウクライナ避難民のみ参加/毎回の参加者 50名程度(うち避難民約40名)



第4回
ハローウィン



第2回でひまわりの絵を描き、第3回でコンテストをしました



【特別回】 ※他団体との連携

特別回 ウクライナの人気アーティスト KAZKA との交流会

公益財団法人 大阪国際交流センター
Osaka International House Foundation 5

1 ウクライナ避難民支援の取組み

5. ウクライナ人コミュニティ交流会 ※ウクライナ避難民&在住ウクライナ人が企画運営し、毎回楽しいイベントを開催

※ウクライナ避難民を支援している日本の企業、団体の方々、一般の日本人親子も参加)

第5回 11/20 参加者 36名(うち避難民21名/日本人13名)

第6回 12/18 参加者 85名(うち避難民49名/日本人28名)

第7回 2/19 参加者 88名(うち避難民62名)

特別回 1/22 参加者 132名(うち避難民54名)、1/28 参加者 13名(避難民)

2/24 参加者 100名(うち避難民60名、日本人ほか40名)



第5回 ウクライナ人と日本の地図
を作ろう



第6回 クリスマス会



第7回 立春のお祭り「マースラナ」

浜寺公園でBBQ
(1/22)



此花警察署 交通指導
(1/28)



ウクライナの平和に祈りを捧げる
キャンドルナイト」(2/24)



【特別回】 ※他団体との連携

公益財団法人 大阪国際交流センター
Osaka International House Foundation 6

2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(1) 自立へ向けた課題-生活・日本語・就労など

① 日常生活における課題

□各種保険、税金の手続き、健康、自治会参加 など

② 日本語習得における課題

□就労・就学に伴う日本語能力の向上 など

③ 就労における課題

□就労していない（求職中）、パートタイム、
ミスマッチによる退職 など

2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(2) 取組み内容 - 実際の対応

- ・ウクライナ避難民を雇用したい企業
➡外国人雇用サービスセンターの登録を案内
- ・求職中のウクライナ避難民
➡外国人雇用サービスセンター
(ウクライナ避難民就労支援窓口) を紹介
- ・その他：身元引受人による雇用、知人による紹介、
ネット検索、ウクライナとオンラインで
仕事 など

当財団では、雇用のマッチングを行っていない！
(できない)

2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(3) 事例紹介 - マッチング成功事例①

受入れる側の配慮により、継続した雇用が可能に

- ・ 避難民Aさん（60代・女性）
- ・ 和菓子屋さんでパートタイム勤務
- ・ 当初、店頭での仕事を割り当てられたが、本人の希望により、非接客の業務に変更
- ・ 高齢のためキャリアアップは望んでいない

★こちらの会社では、複数名の
ウクライナ避難民雇用を実現している



2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(3) 事例紹介 - マッチング成功事例②

職場の人間関係が円滑、モチベーションアップに

- ・ 避難民Bさん（20代・男性・元IT業界）
- ・ 一般企業でフルタイム勤務（展示会装飾など）
- ・ 当初、職場のルールに不満を感じており退職を検討していた
- ・ 安定した雇用形態と収入、人間関係が良好になるにつれて、継続した就労が可能に
- ・ キャリアアップを望んでいる

★ウクライナにいる父へ毎月送金中



2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(3) 事例紹介 - マッチング成功事例③

本人の能力を引き出す環境と外国人への理解

- ・ 避難民Cさん (20代・女性・元美術業界)
- ・ 外国人雇用をしている企業に就職
- ・ 美的センスを活かして、ウェブデザイナーに
- ・ 必要な技術は、企業が指導
- ・ 日本語の上達を目指し、地域の日本語学校へ
- ・ キャリアアップを目指している

★特定活動ビザ⇒就労ビザへ



公益財団法人 大阪国際交流センター
Osaka International House Foundation 11

2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(3) 事例紹介 - マッチング失敗、環境要因など

●ウクライナ雇用/労働相談 23件 (R4. 2. 1~3. 30)

- ・ 避難民Dさん (40代・女性・元上席者)
ホテル清掃の職に就いたが自尊心が低下し退職
- ・ 外国語 (日本語・英語など) 能力不足により、
多くの避難民は、希望する職に就くことができていない
- ・ 子育て中のため、働くことができない
- ・ 情報不足、など

公益財団法人 大阪国際交流センター
Osaka International House Foundation 12

2 中長期的な日本滞在における課題と支援

(4) 課題解決に向けて

- ウクライナ避難民への就労先の拡大
- 避難民の持つスキルに合わせた雇用
- 様々な雇用形態（パートタイム含む）への対応
 - 避難民への理解を持つ雇用先とのマッチング
 - 企業・避難民との直接的な出会いの場
(就職説明会)

<働こうとする避難民の側の課題>

- 避難民の日本語力の向上
 - ・ 避難民の持つスキルの説明
 - ・ 避難民自身の環境の説明

ご清聴ありがとうございました